

OpenRTM-aist (Java) - バグ #4483

マスターマネージャからC++のコンポーネントを起動できない。

2018/03/16 17:35 - katami

ステータス:	新規	開始日:	2018/03/16
優先度:	通常	期日:	
担当者:	katami	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:	RELEASE_1_2_0		
説明			
RTSEからC++のコンポーネントを起動すると「FAILED to create taget RTC」が表示されてRTCが起動できない。C++のrtcdをスレーブで起動しているが、add_slave_managerが呼び出されていない。			

履歴

#1 - 2018/03/20 13:56 - katami

原因

c++のrtcdがマスターとして起動してしまう。

Java版のrtcdをスタートメニューから起動する場合、作業フォルダーは以下である。

"C:\Program Files\OpenRTM-aist\1.2.0\bin\"

このフォルダーには、c++版のrtcdをマスターとして起動するための「rtcd.bat」がある。

```
@call set omni_root=%OMNI_ROOT%
@set PATH=%OMNI_ROOT%\bin\x86_win32\;%PATH%
@%RTM_VC_VERSION%\rtcd.exe -d -f %RTM_VC_VERSION%\rtc.conf
```

そのため、Java版のrtcdで、「cmd /c rtcd」と実行するとこのバッチファイルが起動して、c++版のrtcdがマスターとして起動してしまう。

```
C:\Program Files\OpenRTM-aist\1.2.0\bin>where rtcd
C:\Program Files\OpenRTM-aist\1.2.0\bin\rtcd.bat
C:\Program Files\OpenRTM-aist\1.2.0\bin\vc141\rtcd.exe
```

c++のrtcdが途中でシャットダウンしてしまう。

javaのrtcからC++のrtcdを起動するする際、パラメータのmanager.shutdown_autoをYESで起動していた。manager.shutdown_autoは、一定時間ごとに調べ、RTCがない場合には、マネージャおよびプロセスをシャットダウンするパラメータである。YESの場合、RTCが一つもなければ、マネージャおよびプロセスは自動的にシャットダウンされる。

[manager.shutdown_auto](#)

#2 - 2018/03/27 16:13 - katami

- 担当者を katami にセット
- 対象バージョンを RELEASE_1_2_0 にセット
- 進捗率を 0 から 100 に変更